

南部管内 NEWS

南部管内の寺院や各会で行われた、行事や催しを紹介します



東 京都南部宗務所社会活動部会主催の防災研修が一月三十一日に東京臨海広域防災公園内にある「そなエリア東京防災体験学習施設」で行われました。

この施設は首都圏で大規模な地震災害等が発生した場合、国や地方公共団体の緊急災害対策本部が設置され、公園全体が広域的な指令機能を受け持つ場所となります。平時時は防災体験学習が出来、当日は、ガイ

社会活動部会「防災研修」
一月三十一日(木)

ドの説明を受けながら体験学習しました。施設内には実際に東日本大震災の際に使われたオペレーションルームがあり、窓越しではありますが見学が出来ます。他にも防災用具の展示や、映像で地震について学ぶことが出来ました。



防災体験として地震発生から七十二時間の生存力をつける体験学習ツアーに参加しました。音響・照明・映像により余震が



Nanbu

第5号
2013.09



【南部管内 News】

- 社会活動部会「防災研修」(1月31日)P.2
- 平成24年度檀信徒研修道場(2月8日)P.2
- 日青会「被災地研修旅行」(3月11日～12日)P.3
- 日青会「親子の集い」(3月28日)P.4
- 多磨全生園「花まつり法要」(4月9日)P.4
- いのりの日・バザー(5月3日)P.5

【宗務所・管内各会からのお知らせ】

- 教師研修旅行P.6
- 宗務所HPリニューアルP.6
- 編集後記P.6

繰り返されるジオラマの中を、ニンテンドーDSを使ったクイズで注意事項を確認しながら避難場所へ移動します。実際には地震災害が起きた時には、注意事項が表示される訳ではありませんし、防災体験を通して、自分自身の知識の無さ、危機管理の低さを痛感することが出来ました。

檀信徒研修道場

二月八日(金)

去 る二月八日、東京都南部宗務所は檀信徒研修道場を開催しました。

本年は池上大坊本行寺様を会場として、東日本大震災慰霊と復興をテーマに開催しました。社会活動部会の被災地支援活動の報告を通して、被災地の現状を知って頂き、被災地へ奉納する千羽鶴折りと写経をして頂きました。

当日は修法師会による大

祈禱会が行われ、水行と読経の声が響く中、参加者各々が被災地への想いを鶴と写経に込める研修道場となりました。

最後には写経と折り鶴を御宝前に供え、石井隆康所長を導師、社会教化事業協会、修法師会、声明師会、布教師会の各会会長を副導

師に迎え、当日参加した全教師出仕のもと、東日本大震災慰霊・復興の願いを込めて法要を行いました。

日蓮聖人の御霊蹟で法華経、御題目に包まれながら被災地供養への想いを込める一日となり、檀信徒の研修という枠に止まらず、我々教師としても大変有意義な



檀信徒研修道場となりました。

日青会「被災地研修旅行」

三月十一日(月)～十二日(火)

三月十一日一四時四十分。サイレンの音が鳴り響くと堂内に静寂が広がりました。

東日本大震災の正当三回忌にあたる三月十一日、宮城県石巻市の久円寺様で執り行われた慰霊法要に青年会から十五名が出仕させていただきました。法要後には石巻市内において唱題行脚を行いました。

あの未曾有の震災から二年が経ち、参列者が冥福を祈り一心に手を合わせる姿の一方で、印象的だったのは檀信徒の明るい表情



情です。法要の前後、私たちを手厚くもてなしてくださった檀信徒の方々からは「遠くから来てくれてありがとう」という言葉とともに、たくさんの笑顔がこぼれていました。

一周忌にも出仕した青年会員からは、

「一年前とは明らかに雰囲気が違う。前向きな気持ち、生きるエネルギーを強く感じる」と口をそろえるよう

に言っていました。二年という時が経っても、町の所々に震災の爪痕が残るその一方で、徐々にはあるが復興も進められているということは行脚の道中、強く感じるところでした。

日青会「親子の集い」

三月二十八日(木)

平成二十五年三月二十八日、千葉県木更津にて、第六回親子の集いが開催されました。当日は子供三十名、保護者六名、日青会二十名が参加。

青年会員は午前八時に池上会館に集まり八時半になると参加する子供たちや保護者の方たちが続々と集まりました。九時になり南部青年会井上会長の挨拶で春の親子の集いが開式されました。



今回は木更津にある、「中の大橋」の近くで潮干狩りを体験してもらいました。保護者の方も一緒に参加し体験するのが春の集いです。今回の集いの目的は日頃体験しがたい自然体験を少しでも子供たちや保護者の方たちに体験してもらうことでした。

天候にも恵まれ、晴天の中参加者一同潮干狩りをし、子供たちの中には初めて体験する子も多く、貝を見つけているたびに大きな歓声をあげていました。また様々な種類の貝を

見つけると、これは何と云う貝なのかと興味を持ち、知らないことを知ろうとする積極性も見え、実りある親子の集いとなり

自分たちの獲った貝をそれぞれ持ち帰り、午後四時に池上会館にて解散となりそれぞれ帰路につきました。

多磨全生園「花まつり法要」

四月九日(火)

本年は東京南部が年番園 花まつり法要」に南部日青会会員七名が出仕しました。日蓮宗伝道部長、中井本秀上人を大導師に

迎え、副導師には日蓮宗多磨全生園駐在布教師、大庭一記上人、南部日青会会長、井上実直上人。

多磨全生園は正式名称を国立療養所多磨全生園といい、全国に十三施設ある国立ハンセン病療養所の一つです。東京都東村山市の東北端、緑濃い狭山丘陵の東外れに位置し、三十

年ほど前から、日蓮宗・真言宗・浄土真宗の三宗派合同で花まつりなどの法要を執り行ってきましたが、ここ数年は日蓮宗が単独で行っています。法要後には、入所者の方々とともに昼食を食べながら、親睦を深めました。手料理を片手に「これが全生園の味よ」と、笑顔で振舞っているご婦人の姿が印象的でした。



宗務所・管内各会からのお知らせ

宗務所より

教師研修旅行「伊勢神宮」



平成25年度の教師研修旅行は、伊勢神宮を参詣致します。多くのご参加をお待ちしています。

平成25年11月26日(火)～27日(水)

旅のPoint **式年遷宮**…今年、社殿を造り替え、ご神体を新しいお宮に移す、20年に一度の「式年遷宮」の大祭にあたります。今回の研修旅行では、内宮外宮の御垣内参拝も致します。
誓願の井戸…日蓮聖人が京都遊学からの帰路で立ち寄られたと伝えられる、誓願の井戸もお参り致します。
二見興玉神社…二見浦の海岸線にある、高さ9mの男岩と4mからなる、縁結びで有名な夫婦岩を見学致します。

申し込み **宗務所からの案内をご参照ください。**
 今回の研修旅行は、布教師会・社会教化事業協会・教化センターより助成金を頂いております。



宗務所より

HPリニューアル

管内の各寺院、各会の皆さまのご協力のもと、今年の6月に東京都南部宗務所のHPがリニューアルしました。写真や動画を交えて、宗務所の活動や各会の行事等の報告を掲載していきます。ご活用頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願い致します。



Nanbu 第5号
 平成25年9月
 発行 日蓮宗東京都南部宗務所 宗務事務所
 〒152-0031 東京都目黒区中根 2-21-17 〒146-0082 東京都大田区池上 1-1-1
 立源寺内 大本山池上本門寺内
 電話 03-3717-1387 電話 03-3753-5547
 FAX 03-3724-7284 FAX 03-3754-1825

『Nanbu』第6号は**今冬**発刊予定です。

編集後記
 大変遅くなりましたが、『Nanbu』第5号が刊行できました。南部宗務所管内の皆さま、記事や写真をお寄せ頂いた各会関係各位の皆さまには心より御礼申し上げます。(小林顕秀)
 今号より誌面の構成を変え、文字も大きくしてみました。次号も年内に発刊できるよう頑張ります。(古河良啓)
【記事・写真】 井上実直・石井常晴・大島啓慈・小島知広・小山光祐
 高倉章壽・田村完浩・中里勝雄 (50音順、敬称略)

いのりの日・バザー
 五月三日(金)

五月三日、本門寺境内にて毎年恒例の「いのりの日 バザー&フリーマーケット」が開催されました。

開会に先立ち、東京南部宗務所所長 石井隆康上人が導師のもと大震災で亡くなられた方々への追悼の法要が行われました。参加者、来場者共々に手を合わせ亡くなった方々のため、被災



地早期復興のために祈りを捧げました。

当日は晴天に恵まれ、多くの方々にご来場頂きました。だいぶ知名度も上がってきたのか、

毎年着実に来場者は増えており、会場をまっすぐ歩けないくらいの賑わいぶりです。フリーマーケットの区画も募集を初めて締切前にキャンセル待ちという状態でした。

とくにバザーの盛況ぶりは大変なもので、酒類、レトルト食品、缶詰、洗剤、生活雑貨などが格安で手に入るということで、開店と同時に人でごった返し、押し合いへし合いの状態でした。来年は行ってみようかなという方はぜひ気合いを入れてお越し下さい。その他、大震災被災地の



物産販売ブースや各お寺が檀家さん方と協力して出店する寺院ブース(今年は、花屋さん・お茶席・野菜の販売・草もち・綿あめ・居酒屋・陶芸品の販売・マーマレードの販売・宝釣り・メダカの販売等がありました)、飲食ブース、また池上太鼓の演奏をはじめ各種催し物がありました。

GW中という事もあり、ご家族でご来場される方が多く、主催者側といたしましても家族で一日楽しめるイベントを心がけております。ミニSLに乗ってお母さんに手を振る笑顔、初め

での乗馬で鞍の上でカチコチになってお父さんに向けられる不安げな視線、焼きそばとクレープを頬張る兄弟、ビール片手にフリーマーケットの店主と値段交渉するお父さん。ご来場の皆様それぞれ思い思いに楽しんで頂けたと思います。

今年もお陰様で百数十万円を「あしなが育英会」を通じ震災遺児たちのために寄付することができました。

このチャリティイベントも今年で十二年目となりました。これからもより良いイベントを目指してまいります。来年も多くの方々のご来場を心からお待ちしております。

